

令和元年度第1回埼玉県スポーツ推進審議会【議事録】

日時：令和元年11月27日（水） 10：00～12：00

場所：埼玉県県民健康センター 中会議室

【議 事】

- (1) 会長・副会長選出
- (2) 埼玉県スポーツ推進計画に係る事業について
- (3) ラグビーワールドカップ2019大会について
- (4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について
- (5) その他

【出・欠席委員】

- (1) 出席委員（12名）

秋本委員、太田委員、河本委員、杉島委員、白石委員、高須委員、田部井委員
永井委員、狭間委員、細川委員、松島委員、森川委員

- (2) 欠席委員（4名）

加藤委員、徳永委員、中西委員、山関委員

1 開 会

2 各委員の挨拶 埼玉県スポーツ推進審議会委員－12名

3 挨拶 県民生活部スポーツ局 参与 久保 正美

4 議事

(1) 会長、副会長の選出

- ・本審議会規則第5条第1項の規定により、会長を細川江利子委員（埼玉大学）、副会長を河本弘委員（埼玉県スポーツ協会）に決定した。
- ・本審議会規則第6条第2項の規定により本審議会が成立することを確認した。
- ・議事録の署名委員を太田委員と白石委員に依頼した。

(2) 埼玉県スポーツ推進計画に係る事業について

事務局から資料1-1～資料1-3を説明

○ 細川会長

ありがとうございました。多くの事業が進んでいるようですが、ただいまの御説明につきまして御質問等ございましたらお願いいたします。

○ 松島委員

資料1-1は数字化されて示されていますが、対象はどのような人なのか。また、どのように選んでいるのですか。

○ 事務局（スポーツ振興課）

それぞれ指標があり、それぞれで対象が違っております。例えば、指標1のスポーツ実施率は県政世論調査で約3,000人くらいの抽出調査で行っております。また、指標2については、96の総合型地域スポーツクラブに調査を依頼しております。そのほか、スポーツ庁の調査結果等を使用しております。

○ 松島委員

スポーツを推進している立場として、数字に対して敏感になっています。数字は、一人歩きする部分がありますので、実施する立場として頑張っていきたいと考えています。

○ 白石委員

3, 000人の県民が対象となっていますが、障害がある人は含まれていますか。

○ 事務局（スポーツ振興課）

無作為抽出で行われており、一般的な割合の程度で含まれております。

○ 白石委員

具体的に埼玉県民の障害がある人のスポーツ実施率の数字は実際はないと認識しています。県民の中で障害がある人も、特別な人ではないので県民の中に含まれているなら結構ですが、障害がある人のスポーツ実施率をデータとして今後示していただきたいです。

○ 事務局（スポーツ振興課）

県内の障害者のスポーツ実施率はないとは思いますが、スポーツ庁は調査しております。一般のスポーツ実施率より低いので、スポーツ庁は力を入れていく計画を立てております。

○ 白石委員

笹川スポーツ財団では障害者の全国スポーツ実施率を示していますが、具体的に埼玉県のスポート推進計画の話をしていきますので、埼玉県障害者のある人たちも今後示していければよいと思います。

関連事業の件ですが、4ページの障害者スポーツの推進で他の担当課の取組は具体的に示されていますが、全国障害者スポーツ大会以外の実施取組の内容が同じで、具体的に示されていないのでしょうか。

○ 細川会長

具体的な取組内容の補足説明をお願いします。

○ 事務局（障害者福祉推進課）

障害者スポーツは、大きくファンづくり・きっかけづくり・場所づくりの3つで記載しております。補足で障害者スポーツのファンづくりでは、小学校・中学校・高校・大学に対する体験会を今年度も実施し、障害者スポーツの理解を深めている事業を行っております。障害者のスポーツを行うきっかけづくりでは、県でふれあいピックを実施しており、春の大会・秋の大会・球技大会の大きく3つに分かれております。春の大会は全国障害者スポーツ大会に出場する選手の選考という意味合いが強いのですが、秋の大会ではレクリエーション的な要素を取り入れ、障害者の方々が気軽に参加しやすい形で実施しております。障害者スポーツを行う場所づくりでは、スポーツ施設向けの経営マニュアルを作成し、昨年度研修を行いました。今年度はマニュアルをホームページに掲載し、色々な機会施設

向けマニュアルがあることを周知しております。予算的なハード面ではなく、ソフト面であり、例えば車いすの補助をしてあげるなどの改善や安全策などを中心にマニュアルを作成し、広く施設に周知しております。それ以外の事業も行っております。

○ 細川会長

1-23から31まで同じ記載だと分かりづらく、説得力がないと感じます。書類に残ってしまうので、特にこの部分という記載があるとわかりやすくなるので、次回からお願いしたいと思います。

○ 事務局（障害者福祉推進課）

今後、細かい事業を記載していきたいと考えております。

○ 太田委員

予算額の決定についてお聞きします。同じ数字が並んでいますが、今年はこの取組を特に頑張るなどの予算の確保の仕方はないのでしょうか。

○ 事務局（スポーツ振興課）

予算額に関しては、事業名の予算を記載しております。この事業の中でそれぞれ取組があり、その細かい内訳は記載しておりません。

○ 太田委員

今年度は変わらないですが、令和2年度、令和3年度とこの年度では、これを中心にやるから予算を多くするなど、これが審議会に出てきて議論してもよいと思います。毎年、予算計画書を細かく見ればわかるとか、オリンピックとか多く出るのは分かるが、一般の障害者やイベントなど、この年度はここを重点してやるのかを見える化してもらえれば意見が出しやすいと思います。

○ 事務局（スポーツ振興課）

5年間の計画なので、その中でメリハリは当然必要だと思っております。予算は単年度で出しているの、なかなか将来的にどこに力を入れていくか出しづらい部分もございます。同じことはやっていないのでわかりやすい記述にしていきたいと考えております。予算は、議会の承認を得ながら進めていくので書きづらい面もございますが、了承していただけたらと思っております。将来的な部分もわかるよう記述していきたいと考えております。

○ 事務局（スポーツ振興課）

例えば、審議会でのこの部分に関して予算を充てた方がよいなどの御意見を出すのは結構だと思っております。それに対して、各課で予算要求や次年度に向けての計画を出していければと考えております。ここでは意見を出していただきたいと思っております。

○ 細川会長

意見を言うにも、予算だけ記載しているだけでは、多いのか少ないのかはわからない。検討できる資料を示していただければと思います。ぜひ、お願いします。

○ 狭間委員

施策2の子供のスポーツ活動の充実の7ページと8ページまた次のページの部活動まで、予算の数字が同じように並んでいます。また、生涯スポーツをやっていくにあたり部活動だけとか高校まで部活動をやっていくがやらなくなる、まさに取組につながっていくのではないのでしょうか。取組予定を見ると、教育課程説明会や保健体育研究協議会が並んでいますが、どのくらいの頻度でやっていますか。やり方として、同じことを確認するだけではなく推進や変更していくなどアイデアをスポーツ振興課から出していくとか、高校の先生にお願いしてアイデアを出してもらい検討していくとかのやり方を聞きたいです。

○ 事務局（保健体育課）

施策2で協議会と研究会が並んでいるが、例えば保健体育研究協議会は小中高でそれぞれの年齢に応じた研究会を実施しております。授業研究会も小中高で分かれて行っており、一回ではなく各地区ごとに分かれて行っております。例えば、高校では全県を13地区に分け、それぞれ年度で選ばれた高校が実施し、14、5年に1回の割合で各校が研究発表をしていただいております。夏休み中には、部活動指導講習会を行っております。また、高体連や中体連がそれぞれの種目で指導者講習会を行っております。

○ 狭間委員

それは基本的に確認して何をやっているか発表していただいて、県が確認している形の認識でよいのですか。

○ 事務局（保健体育課）

授業研究ですと、その時期にどのような授業をやっているかを議論し、学習指導要領に従っているか我々が指導講評を行っております。また、部活動に対しては、それぞれの種目の特性があるが、技術の向上や安全に配慮した指導法などを話題にして取り組んでいただいているところです。

○ 狭間委員

例えば、更に生涯スポーツをやるために学校の授業に何か手を加えるということは、違う部署の方との話し合いなのですか。

○ 事務局（保健体育課）

生涯スポーツに関連して、学校では生涯においてどれかひとつ種目を続けましょうというのが今の学習指導要領でございます。学習指導要領が新しくなるので理念についても、また新しくなります。部活動に関しては、部活動に入っている子たちも部活に特化して大学または社会人になっても続けることを考えて部活動の指導者は行っております。

○ 細川会長

専門の世界に生きてませんが、保健体育課の説明の通りです。私は、学習指導要領を作成しているのですが、小中高ともに生涯に向かって健康でスポーツに親しむ態度を身に付けることが一番の目的になっており、それをいかに県内の小中高で実現していくかということで色々な研究会や指導者講習会を行っています。そこで、指導主事の先生方や大学教授またはスポーツ庁の方を呼んで、それを御覧になり、指導を何回か実施しています。それに、従ってのことですが、県の中でも生涯スポーツに向けてどのような工夫をしていけばよいのか研究をされていて、そのことを各学校におろしていくような形での取組がされていると私は思っています。間違っていますか。

○ 事務局（保健体育課）

ありがとうございます。

○ 秋本委員

具体的には、11月7日に第50回小学校体育授業研究会が羽生市の須影小学校で行われました。各地区を代表してという形ではないが、輪番でどの学校も実施するとの位置づけで羽生市で行われました。今、ラグビーが盛んで子供たち小学校でもケガ無く安全に楽しめるようなスポーツということでタグラグビーを行い、保健体育課にも御指導していただきました。現場の学校は学力ということで国語や算数を研究している学校がすごく増える中、基本は子どもたちに生涯にわたってスポーツに親しんで健康な体づくりが基本だと私どもも考えています。その中で、50年続く小学校体育授業研究会の意義というのは、すごく重要だと再確認させられました。どの学校も体育がありますので、体育の授業をより楽しく子供たちが運動大好き体育大好きになるような取組の良い例だと思います。子供たちが生涯にわたってスポーツが好きになるきっかけづくりになる体育活動の充実だと思うので、ぜひ継続してもらいたいです。具体的に言うと、iPadを使って、子供たちが生涯競技をやった時に自分の姿をiPadで見て、それを振り返り学ばせていただく良い資料いただきありがとうございます。

ました。具体的な例として申し上げました。

○ 細川会長

色々な取組が行われているようです。埼玉県に限らず運動2極化で、する子、しない子に分かれてしまっています。いかに運動をしていない子に運動をさせていくかは全国的な課題でもあります。今後、埼玉も課題になっていくと思います。

○ 高須委員

体を動かすことが基本のスポーツ推進計画を立てていると思いますが、現在はeスポーツ等が出てきています。計画を立てた時には入れていないと思いますが、今後はどう考えますか。

○ 事務局（スポーツ振興課）

スポーツ基本法では健康、体力の保持や身体運動を伴ったものというものをスポーツと言われております。現在、スポーツ庁でもスポーツの各種の見直しを進めているところのようでございます。eスポーツが国体のデモンストレーション競技になったり、アジア大会が開催されたりということもあり、当課しても研究を進めているところではございます。eスポーツを活用しながらスポーツの普及をしていこうと考えております。

○ 高須委員

4年以降に、もしかしたら変わる可能性がありますか。

○ 事務局（スポーツ振興課）

国内外の状況やスポーツの捉え方等を踏まえて作成していくことになると思っております。

○ 松島委員

スポーツ推進計画は県の全体的な考え方を明記しています。そうした中で、埼玉県としてこれが重点施策としたものの考え方はないのでしょうか。年度計画だけでなく、5年計画の中で1年1年やっていき、5年目に重点施策が完成するような施策があると他の県にもアピールできると思いますが、そのような考え方があるのでしょうか。

○ 事務局（スポーツ振興課）

県といたしましては、スポーツ推進計画の中の指標にもありますように、スポーツを週1回以上行う20歳以上の割合のスポーツ実施率を第一の目標であると考えております。スポーツ実施率を高め

ていくことにより、健康長寿につながっていくなど、いろいろな効果が生まれてくるので、まずはこれが大きな課題と目標になると考えております。

○ 松島委員

スポーツ実施率はスポーツ庁が取り上げて、少しでも上げようと施策や活動していると思っています。先ほど、説明があったのは横に流していただいてこういう活動をしますという話ではないでしょうか。アピールするには、何らかの形で皆さんにわかりやすいやり方にとすると県民がよりわかりやすいと思います。例えば、広報等の色々な方法があるので、少しでも前向きな考えをしていただければと思います。

○ 事務局（スポーツ振興課）

このような意見を踏まえまして、今後進めさせていただきたいと思っております。

○ 細川会長

関連して、今重点化とかの話が出てきています。特に指標1が最大の目標であるということで、現在数字を出してしまっているのが気にかかります。今年度は53.2%で令和4年度65.0%かなり差がありますが、近づけていくためにここを重点的にとか特にここに力を入れていくとかの工夫とか変更が始まっていますか。

○ 事務局（スポーツ振興課）

スポーツ実施率を高めるには、誰もがスポーツをできる機会、場を設定していくことが必要であります。そのような取組は、スポーツ・レクリエーションの機会の場を広めていくことだと考えております。さらに、総合型地域スポーツクラブですが、国の制度が変わり、来年度に整備され再来年度から動いていく流れでございます。その流れも踏まえて、地域から誰もが参加できるスポーツの環境づくりを進めていきたいと思っております。

○ 細川会長

数字が出るのは怖いので、近づけるように共に頑張っていかなければならない。

事務局から資料2を説明

○ 細川会長

ありがとうございました。ラグビーワールドカップの開催については、色々な報告が残っているのかもしれませんがお疲れさまでした。それでは、ただいまの御説明につきまして御質問等ございましたらお願いいたします。

○ 田部井委員

なでしこジャパンがワールドカップで優勝した時にすごく盛り上がったのですが、そのあとはなでしこリーグもたくさん人が集まった。しかし、そのあとはずっと下火になっていった、あの教訓はあると思います。先日の中学校の大会で城西川越中学校が優勝した際も、ラグビーワールドカップのあとだったので保護者もたくさん見に来て盛り上がりました。サッカーと比較されてまだよいとか、戦争になったとかコロンビアでは選手が殺されたとか物騒な話ばかりで、SNSではラグビーワールドカップのよいことばかりが出ていたので、読んでる私も日本人としての誇りを持ったし、朝礼ではラグビーワールドカップの話を自然としてしまったので、是非人気が続くように継続してほしいです。パナソニックの本社が来るのですか。

○ 事務局（ラグビー・ワールドカップ2019大会課）

チームの練習拠点で、クラブハウスでございます。

○ 田部井委員

群馬県から文句がなかったのでしょうか。

○ 事務局（ラグビー・ワールドカップ2019大会課）

理解していただいた。

○ 田部井委員

是非、盛り上げて下さい。応援しています。

○ 事務局（ラグビー・ワールドカップ2019大会課）

社会人ですが、遅れながらプロ化の動きが出てきております。もし、プロ化したら色々な仕掛けができ、スポーツの枠を越えて仕掛けが出来ると考えております。熊谷自体も、レッズやアルディージャも年に1回開催しております。ぜひ、熊谷を御利用してもらえればと思っております。いただいた意見も踏まえ、しっかり連携をとり取り組んでいきたいと考えております。

事務局から資料3を説明

○ 細川会長

ありがとうございました。それでは、ただいまの御説明につきまして御質問等ございましたらお願いいたします。

○ 細川会長

先日、聖火リレーの選考に関わることをさせていただきました。埼玉はとても希望者が多いということで、とても今関心が高まっているのかと思いました。

○ 事務局（オリンピック・パラリンピック課）

先日はありがとうございました。聖火リレーのランナーについては、1万人を超えるたくさんの応募をいただいております。一人ひとり熱心に400字くらいの作文を書いていただき、拝見すると熱のこもった素晴らしいものがありました。60年大会でも聖火を走った方々は、今でもたくさんおられ、今回のイベントでも御協力いただき、素晴らしさを伝えていただいたところでございます。今回も選考で走られた方もそうなると思っております。パラリンピックの聖火のランナーにつきましても、来月から順次募集をかけさせていただくところでございます。

○ 細川会長

引き続き大変だと思いますが、よろしく願いいたします。

事務局から今後の審議会開催日程等について連絡

○ 細川会長

ありがとうございました。今の次回審議会日程について御質問等がございますでしょうか。それでは、委員の皆様には長時間にわたり御審議をいただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、本日の議事を全て終了とし、議長の任を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。

○ 細川会長

皆様、本当にありがとうございました。様々な立場から、沢山の御意見や熱い思いを聞かせていただきました。より良い計画になるように次回の審議会でもよろしく願いいたします。

5 閉会

署名 _____ 印

署名 _____ 印

署名 _____ 印